【リスクアセスメントの方法・考え方について（解説）】

- ✓ 本アセスメントは、自治体、避難所等での感染症リスクアセスメントツールの一つとして提示している。
- ✓ リスクアセスメントの目的は，被災者の疾病罹患や死亡を減らすために必要な介入の優先順位づけに役立てることである．
- ✓ 被災者がさらされるリスクは，発生地域における感染症流行の時期的状況，災害の種類や規模によって異なる．また，被災者に必要な介入の遂行能力も災害の特徴に影響されるため，地域（自治体、避難所等）に応じたリスクアセスメントが必要になる．
- ✓ 本法については WHO 西太平洋地域事務局により用いられている方法論・フォーマットを修正し用いている。

【リスク評価の方法】　　①　　②　　③

2011年3月14日

	もともとの発生率または報告数：地域(1)、全国(2)	ワクチン接種率：地域(1)、全国(2)	地域・避難所で流行する可能性 1＝低; 2＝中; 3＝高	公衆衛生上の重要性（罹患率・死亡率・社会的） 1＝低; 2＝中; 3＝高	リスク評価 1＝低リスク; 2＝中リスク; 3＝高リスク	コメント
水系/食品媒介感染症						
急性下痢症			3	2	3	ノロウイルス感染症を含む
細菌性腸管感染症（サルモネラ、キャンピロバクター、病原性大腸菌など）			2	2	2	
A型肝炎			1	2	1	
E型肝炎			1	2	1	
動物/昆虫/ダニ媒介感染症						
レプトスピラ症			1	2	1	
ツツガムシ病			1	2	1	
過密状態に伴う感染症						
急性呼吸器感染症			3	2	3	
インフルエンザ/インフルエンザ様疾患			3	3	3	
結核**			2	2	2	
ワクチンで防ぐことのできる感染症						
麻疹			2	3	3	
風疹			2	2	2	
ムンプス			2	2	2	
水痘			2	3	2	
破傷風*			2	2	2	
百日咳			2	2	2	
その他						
血液媒介疾患（B型肝炎/C型肝炎/HIV）*			1	2	1	
創傷関連感染症*			2	3	3	
ビブリオ・バルニフィカス感染症			1	1	1	
エロモナス感染症			1	1	1	

*救助隊においてもリスクが高い
**急性期以降に問題となりうる

①地域・避難所で流行する可能性の評価

各疾病が流行する可能性について，下記の視点を参考に１（低い），２（中等度），３（高い）のいずれかに分類する．

感染伝播の機会	感染伝播のリスク状況*	ワクチン接種率
少ない	落ち着いている	高い
中等度	一部で悪化	高いが，一部に感受性者あり
多い	全体で悪化	未接種またはワクチンなし

*流行時期，集団生活，寒冷環境，衛生環境悪化など

②公衆衛生上の重要性の評価

各疾病の流行が与える公衆衛生上の影響について，罹患率・致死率の視点から１（低い），２（中等度），３（高い）のいずれかに分類する．

分類	罹患率・致死率
１：低い	低い
２：中等度	許容される水準より高い
３：高い	高い

③リスク評価（①，②の結果を用いて，下記の基準に基づいて評価する.）

公衆衛生上の重要性	1	2	3
3			
2			
1			

地域避難所で流行する可能性

1：低リスク	
2：中リスク	
3：高リスク	